

大会日程・次第

第1日目【全体会】 (受付時間)11:00~12:00

司会:井上 美和子 氏

1. 歓迎セレモニー 12:00~12:20(20分)
「中華獅子舞」 学校法人横濱中華學院 様
2. 開会行事 12:30~13:00(30分)
(1)開会のことば 大会実行委員会副委員長 西村 雅代
(2)主催者あいさつ 大会実行委員会委員長 小池 茂子
全国社会教育委員連合会長 鈴木 真理
(3)来賓祝辞 神奈川県副知事
(4)歓迎のことば 横浜市副市長
(5)来賓紹介
3. 記念講演 13:10~14:10(60分)
テーマ:「誰もが自分らしく生きることができる社会をめざして」
認定NPO法人スローレーベル 栗栖 良依 氏
4. シンポジウム 14:20~16:20(120分)
テーマ:「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」
シンポジスト 厚木市立森の里公民館前地区館長 青木 信二 氏
東京都台東区教育委員会社会教育主事 阪本 陽子 氏
相模原市社会教育委員
一般社団法人視覚聴覚障害アドボカシー研究所
マイノリティリサーチセンター研究員 渡邊 健一 氏
コーディネーター 青山学院大学コミュニティ人間科学部教授 伊藤 真木子 氏
5. 閉会行事 16:20~16:40(20分)
(1)次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ
群馬県社会教育委員連絡協議会会長 岩崎 哲 氏
(2)全員合唱 ゆず「栄光の架橋」 作詞:北川悠仁 作曲:北川悠仁
指揮:大会実行委員会委員 鈴木 敦子
ピアノ伴奏:大会実行委員会副委員長 佐々木 和子
(3)閉会のことば 大会実行委員会副委員長 丸田 昭文

第2日目【分科会】 10:00～12:30(受付 9:30～10:00)

およその流れ < 事例発表:各25分、協議:25分、全体共有:25分、総評:15分 > 途中休憩あり

<第1分科会> 地域の教育力の再生と社会教育委員の役割		
地域の教育力の低下が指摘される中、地域の教育力を再生していかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割について考える。		
発表者・テーマ	【長野県下諏訪町】 星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学び ～紙芝居を作った私たちの物語～	助言者 若原 幸範 氏 (聖学院大学 准教授)
	【神奈川県海老名市】 子どもと大人が共に育つ社会の構築を目指して	
<第2分科会> 次の世代につなぐ持続可能な社会		
予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。		
発表者・テーマ	【栃木県市貝町】 地域の若者と大人が協力して作り上げる、次世代へ向けた 新イベント「おかのぼ Rock Fest.」の実施について	助言者 大木 真徳 氏 (青山学院大学 准教授)
	【神奈川県藤沢市】 「未来を担う人材育成」～地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム～	
<第3分科会> 家庭教育支援		
子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。		
発表者・テーマ	【群馬県高崎市】 「学び」を通じて親子が成長し、活躍できるための家庭支援 の方策について	助言者 久保内 加菜 氏 (鎌倉女子大学 教授)
	【神奈川県寒川町】 子どもの未来を地域で育てる ～公民館・図書館における家庭教育支援の取組～	
<第4分科会> 共生社会の実現		
年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。		
発表者・テーマ	【神奈川県川崎市】 多文化共生社会の実現に向けて ～市民館等での取組～	助言者 白木 賢信 氏 (東京家政大学 教授)
	【神奈川県茅ヶ崎市】 共生社会推進に向けて社会教育施設ができること ～誰もが活用しやすい公民館を目指して～	
<第5分科会> 地域学校協働活動		
地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。		
発表者・テーマ	【新潟県見附市】 社会教育委員がつなぐコミュニティ・スクールと地域学校協働 活動～新潟県見附市立見附中学校での取組～	助言者 藤原 文雄 氏 (国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部長)
	【神奈川県真鶴町】 弱みを強みに！～小さな町の挑戦～	

令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会 交流大会・社会教育委員研修会

日 時：令和7年12月13日（土）午後1時30分～午後16時30分

場 所：小金井 宮地楽器ホール 3階大ホール

主 催：東京都市町村社会教育委員連絡協議会

次 第

交流大会

■第1部 式典

開 会 都市社連協副会長 生尾 光 （小平市）
あいさつ 都市社連協会長 笹井 宏益 （小金井市）
来賓祝辞 小金井市教育委員会教育長 大熊 雅士 氏

■第2部 各ブロック研修会実施報告 ※質疑応答含む

第1ブロック幹事 瑞穂町
第2ブロック幹事 国分寺市
第3ブロック幹事 町田市
第4ブロック幹事 西東京市
第5ブロック幹事 調布市
※今年度の統一テーマを受け実施された各ブロック研修会の内容報告

■第3部 社会教育委員研修会 ※質疑応答含む

○登壇者紹介

【司会】小金井市社会教育委員 会長 笹井 宏益
【コメンテーター】前小金井市社会教育委員 伊藤 安寿香
【パネリスト】NPO 法人こがねい子どもパーク遊パーク 邦永 洋子
小金井第三小学校おやじの会／社会教育士 小林 浩
NPO 法人アートフル・アクション／フォトグラファー 廣川 慶明

○基調講演

小金井市社会教育委員 会長 笹井 宏益
「関わり合いの中から生まれる地域の未来ー地域社会教育実践の経験を踏まえてー」

○事例紹介

- ・社会教育としての遊パーク事業その始まりと今
- ・小金井第三小おやじの会紹介
- ・ゆるやかなつながりのタネまき

○パネリストによるディスカッション

○質疑応答

閉 会 都市社連協副会長 須崎 奈緒美（日野市）

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和7年12月18日
地域学習支援課

1 行 事 名	令和7年度青少年健全育成講演会
2 開催年月日等	令和7年11月12日(水) 午後3時～4時30分
3 会 場	中央公民館 ホール
4 内 容	<p>こどものウェルビーイングを支える地域の力を育む 講師：三森 寧子氏（千葉大学教育学部准教授）</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどものウェルビーイングとは何か ・データからみる小平市のこどもたち ・健康とソーシャルキャピタル ・こどものウェルビーイングを支える地域の力とは <p><アンケート感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちや地域のために自分が何かできるとしたら、人のご縁を大切にしながらつながっていくことなのかなと思いました。 ・具体的な事例を座談会のような形で聞いてみたいと思いました。 ・先生の経歴をお聞きして感銘を受けました。そしてウェルビーイング、子どもに限らず、地域の人達みながそうなれたら素敵ですね。今度は具体的に私たちがどうすべきかを考えることですね。また頑張ろう！と思えた講演会でした。 ・若い世代との関わり方。声のかけ方や話し方、態度など、今の時代に合った関わり方を具体的な事例などで勉強したいです。
5 主 催	小平市教育委員会
6 参加者数 (前年実績)	<p>33人(66人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 小平市青少年対策地区委員会関係者 15人 ② 学校支援・放課後こども教室関係者 6人 ③ 一般 12人
7 特記事項	本講演会は、青少年対策地区委員会代表者協議会研修と兼ねて行った。
備考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和7年12月18日
地域学習支援課

1 行事名	令和8年 二十歳の集い
2 開催年月日等	令和8年1月12日（月・祝）午後1時～午後2時30分
3 会場	ルネこだいら 大ホール
4 内容	<p>目的：おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます。 対象者：平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度より始めた対象者による実行委員会形式を継続。 ・式典後のアトラクションについては、恩師からのビデオメッセージ、抽選会を実施する予定。 ・式典のライブ配信を実施する予定。
5 主催	共催：小平市、小平市教育委員会 企画・運営：二十歳の集い実行委員会
6 参加者数 (前年実績)	<p>令和7年11月25日現在 対象者：2, 144人</p> <p>〔 令和6年度 対象者：2, 196人 参加者：1, 210人（55.1%） 天候：晴れ 〕</p>
7 特記事項	案内通知を12月上旬に対象者へ郵送するとともに、市報12月5日号、市ホームページにて周知する。
備考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和7年12月18日
地域学習支援課

1 行事名	第22回 小平よさこいスクールダンスフェスティバル in 2026
2 開催年月日等	令和8年2月28日(土) 午後1時30分～午後4時(予定)
3 会場	ルネこだいら 大ホール
4 内容	目的：各学校等において取り組んでいるよさこいやダンスの発表の場を提供し、異世代間の交流を促進するとともに、学校・家庭・地域社会の連携を支援する。 参加校：市立小学校19校(全校) 大学1校(東京学芸大学)
5 主催	主催：小平市教育委員会 企画・運営：小平よさこいの会 小平よさこい大学生実行委員会(Y会) 後援：社会福祉法人 小平市社会福祉協議会 小平市青少年対策地区委員会代表者協議会 小平市立小学校長会 一般社団法人 小平青年会議所 協賛：小平商工会 グリーンプラザ商店会 一橋学園南口商店会 光が丘通り商店会 仲町共栄会
6 参加者数	出演者：約750人 来場者：約800人
7 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で組織されている「小平よさこいの会」は、本事業だけでなく、灯りまつりや市民まつりでも多くの参加者を動員するなど、学校と地域の連携が深められている。 ・大学生が「小平よさこい大学生実行委員会(Y会)」として、企画・運営に携わっている。 ・来場者多数のため、前半の部、後半の部で完全入替制とする。
備考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和7年12月18日
地域学習支援課

1 行事名	第19回多摩六都ヤング・ダンスフェスティバル
2 開催年月日等	令和8年2月22日(日) 午後1時30分～3時30分(予定)
3 会場	ルネこだいら 大ホール
4 内容	<p>目的：多摩北部都市広域行政圏域を対象とした高校生による高校生のためのダンスフェスティバルを開催し、ダンスの発表の場を提供するとともに高校生の自主性を育む。また、この活動を通して地域に高校生の活躍する場をつくることにより、地域に貢献できる喜びを持たせ、活気あるまちづくりを推進する。</p> <p>参加校：13校22チーム 小平高校、小平西高校、小平南高校、白梅学園高校、錦城高校、東村山高校、東村山西高校、日本体育大学桜華高校、明治学院東村山高校、東久留米総合高校、久留米西高校、田無高校、武蔵野大学高校</p> <p>※観覧には、事前申し込み（先着順）による全席指定の電子チケット（無料）が必要となります。</p>
5 主催	<p>主催：多摩北部都市広域行政圏協議会 主管：小平市教育委員会 企画：高校生代表者会議</p>
6 参加者数	<p>出演者：約450人 来場者：約1,000人</p>
7 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の会場整理等は、各チームの代表者からなる会議を通じて、高校生自身が担っている。 ・本事業は、多摩北部都市広域行政圏域内における青少年の健全育成事業として、東村山市の「ヤングライブフェスティバル」、清瀬市の「高校生の写真展」とともに立ち上げた事業の1つである。
備考	

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和7年12月18日
中央公民館

1 行事名	公民館主催イベント（10月、11月）
2 開催年月日等	①「中央公民館サークルフェア」 11月2日（日）、3日（月） ②「小川西町公民館まつり」 10月11日（土）、12日（日） ③「花小金井北公民館まつり」 10月25日（土）、26日（日） ④「上水南公民館まつり」 10月25日（土）、26日（日） ⑤「津田公民館まつり」 11月15日（土）、16日（日） ⑥「鈴木公民館まつり」 11月22日（土）、23日（日）
3 会場	①中央公民館、②小川西町公民館、③花小金井北公民館、④上水南公民館、⑤津田公民館、⑥鈴木公民館
4 内容	①中央公民館サークルフェアについて 中央公民館サークル 43 団体が展示や体験を通してサークル活動のPRを行った。また、公民館主催クラシック音楽会の開催、小平第一中学校の生徒による吹奏楽演奏など幅広い世代の交流の機会となるよう努めた。 中央公民館サークルフェア 2日間合計 2,948人参加 ②③④⑤⑥分館まつりについて 公民館活動団体の成果の発表、及び地域のコミュニティづくりの場として舞台発表や展示等を行った。また、音楽会や落語会等の開催、近隣の小・中学校の児童生徒の参加など各館において工夫に努めた。 小川西町公民館まつり 2日間 合計 577人参加 花小金井北公民館まつり 2日間 合計 233人参加 上水南公民館まつり 2日間 合計 557人参加 津田公民館まつり 2日間 合計 1,337人参加 鈴木公民館まつり 2日間 合計 907人参加 ※速報値
5 主催	①はサークルフェア実行委員会、②③④⑤⑥は各館のまつり実行委員会が小平市公民館と共催してそれぞれ実施。
6 参加者数	令和2年度 中止 令和3年度 中央公民館サークルフェアのみ開催。参加者数 937人 令和4年度 ①の参加者数 764人、②③④⑤⑥の参加者数 1,980人 令和5年度 ①の参加者数 1,868人、②③④⑤⑥の参加者数 3,096人 令和6年度 ①の参加者数 2,729人、②③⑤⑥※の参加者数 3,265人 (※④上水南公民館は開催中止)
7 特記事項	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和7年12月18日
中央公民館

1 行事名	公民館主催イベント（1月）
2 開催年月日等	大沼公民館まつり 1月17日（土）、18日（日）
3 会場	大沼公民館
4 内容	<p>公民館利用団体の学習活動の成果の発表及び地域のコミュニティづくりの場として、まつり実行委員会との共催により開催する。</p> <p>大沼公民館利用団体による成果発表として、生け花、水彩画、絵手紙等の作品展示、並びに、楽器演奏、盆踊り、フラダンスなどの舞台発表を行う。</p> <p>また、近隣の学校からの参加として、小平第七小学校放課後こども教室、小平第六中学校箏曲部、錦城高等学校吹奏楽部による演奏や演舞等も披露される。</p> <p>その他、多くの来館者が楽しめる場として、キラキラ人形劇団による人形劇、小平市出身の大道芸人の方をお招きしての講演・実演会、お弁当やお菓子の販売なども行われる予定。</p>
5 主催	大沼公民館まつり実行委員会、大沼公民館
6 特記事項	<p>大沼公民館まつり実施実績</p> <p>令和2年度 中止</p> <p>令和3年度 中止</p> <p>令和4年度 2日間合計参加者数 322人</p> <p>令和5年度 2日間合計参加者数 1,207人</p> <p>令和6年度 2日間合計参加者数 1,714人</p>
備考：	

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和7年12月18日
中央図書館

1 行事名	<ul style="list-style-type: none"> ① 「読書ノートを書いてみよう！」 ② 「秋のおはなし工作会」 ③ ブックスタート講演会「赤ちゃん絵本のヒミツ～制作から読み聞かせまで」 ④ 「スペシャルおはなし会」
2 開催年月日等	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和7年11月1日(土)～11月30日(日)【全図書館】 ② 令和7年11月16日(日)【中央図書館】 ③ 令和7年11月29日(土)【中央図書館】 ④ 令和7年12月2日(火)～12月24日(水)【全図書館】
3 会場	中央図書館及び地区図書館
4 内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 秋の読書月間(10/27～11/9)に合わせ、小学校低学年程度までを対象とし読書ノートを配付し、こどもの読書活動を支援しました。 ② おはなし会のあとに、おはなしの内容にちなんだ工作を行いました。参加：10名、対象：4歳～小学生 ③ こども向け月刊誌の編集部長を講師に迎え、絵本の作り方や楽しみ方についてお話いただきました。講師：一戸盟子氏(福音館書店)、参加：45名 ④ 日頃、各図書館で行っているおはなし会のスペシャル版を実施しました。対象：4歳～小学生と保護者
5 主催	小平市教育委員会
6 特記事項	④は、小平市子ども文庫連絡協議会との共催
備考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和7年12月18日
中央図書館

1 行事名	<ul style="list-style-type: none"> ① 「休館日の図書館へようこそ」 ② 第46回「ふるさとの新聞元旦号展」 ③ 「図書館で“ぼうさい”について学ぼう！」 ④ 児童文学講演会 きむらゆういち先生講演会
2 開催年月日等	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和7年12月18日(木)【中央図書館】 ② 令和8年1月5日(月)～2月3日(火)【中央図書館、上宿図書館、大沼図書館、小川西町図書館】 ③ 令和8年1月24日(土)【小川西町図書館】 ④ 令和8年2月8日(日)【中央図書館】
3 会場	中央図書館及び地区図書館
4 内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 図書館の休館日に、親子別々で図書館を楽しんでいただくイベントです。定員：6家族程度 ② 全国各地の1月1日発行の主要地方新聞を集め、展示します。あわせて、郷土色豊かな地方出版社の出版物の展示を行います。新聞展示：60社程度(予定) ③ 地震の仕組みを知り、災害発生時の行動の仕方や、日々できる防災への取組について学びます。定員：36名、対象：4歳から小学生と保護者 ④ 絵本『あらしのよるに』を書かれたきむらゆういち先生を迎え、作品の制作秘話や絵本が育てる子どもの夢などについてお話しいただきます。定員：80名、先着順
5 主催	小平市教育委員会
6 特記事項	
備考	

